

 <p>スポーツ なかま in TOYAMA</p>	<p>第278号 2012年 6月 1日 発行 富山市内幸町3-22菅谷ビル4階 新日本スポーツ連盟 富山県連盟 電話 & FAX 076-441-0541 発行 猪俣 林 憲彰</p>
--	--

スポーツは平和とともに

Peace Run 2012

反核平和マラソン実施要項発表 (2・3ページ)



パークゴルフ6月度 コンペのお知らせ

期 日 6月13日 (水)

コース 射水市 下村パークゴルフ場 (右の地図参照)

とねりこコースA・B、やぶさめA

集合・開始時刻 とねりこふれあい館 (パークゴルフ管理棟) 集合
 午後1時、組み合わせ抽選、その後直ちにスタートします。
 (出来るだけ事前に参加申し込みをお願いします)

参加費 500円

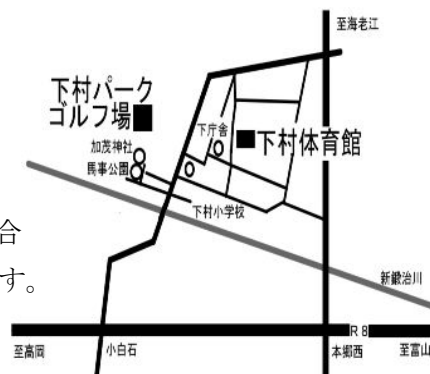
参加者が6名に満たない場合は「交流会」とし、参加費は頂きません

プレー代 400円 (70才以上200円※証明提示)

表彰 1位から3位まで表彰します。(交流会の場合は表彰はありません)

その他 用具は借りることが出来ますので、初心者も気軽に参加してください。

過去の交流会や大会で優勝した方は、マイナスのハンディキャップがあります。



5月度 パークゴルフ交流会結果

参加者が6名に満たなかったため、交流会としました。今回の成績は以降のコンペのハンディの対象にはなりません (36ホール)

	甲厚子	木谷鐵太郎	法土武雄	林憲彦
スコア	127	123	130	133
HC		+2		+2
グロス	127	125	130	135

2012年

第18回

反核平和マラソンin富山

実施要綱

主催：新日本スポーツ連盟・富山県連盟(富山市内幸町3-22)

主管：雷鳥ランニングクラブ

広島・長崎・第五福竜丸と、日本は核兵器の悲惨な被害を受けてきました。

東日本大震災の復興は、人災とも言える原発事故が重なったことによって、生存権をも脅かされる深刻な状況にあります。

今、全国の原発地域では、いっこうに進まない事故の原因究明と政府から独立した安全委員会が作られていないにも関わらず、原発再稼働ありきの方針に失望と怒りが渦巻いています。

いまだに電力企業や関連団体から寄付等を貰いながら、原子力村で安全神話を振りまいてきた御用学者の責任も重大です。

核の被害は人類の存亡をも左右します。福島を解決できなくて、北朝鮮やイランにもものを言えるでしょうか。いまこそ大きな声をあげ平和のために集めましょう。

ぜひ多くの人たちに参加を呼びかけて頂き、一緒に参加して頂きたいと思います。

6月16日(土)

砺波市役所出発し天田峠石川県境へ
(平和行進・日本海コースの引継ぎに合流)

砺波市役所 午前8時30分集合◎午前8時50分出発 …… ◎旧359号鷹栖 9時25分
(5.0Km)

○砺波工業高校前・給水のみ……………◎ゴールドウイン手前交差点 10時00分……………
(10.8Km)

◎クロスランド小矢部 10時20分 ……◎石動駅前 11時00分……………◎天田峠頂上 11時20分
(13.8km) (18.5Km) (20.0Km)

◎石川県境で引継ぎ(21.8Km) 11時30分時、集会終了後・砺波市役所へ戻る

◎趣旨に賛同された方はどなたでも参加できます。1Kmでも2Kmでも途中からでも結構です、お待ちしております。グループの参加も歓迎

富山から乗り合わせ希望の方は、『ファボーレの湯』又は「コジマ」の駐車場へ
午前8時00分まで集合してください。

※ 参加費は600円(被爆者救援募金100円、福島原発被災者支援100円を含む) 当日頂きます。

希望の方は、帰りに近くの温泉に入ってきたいとおもいます。

※ 参加申込は2日前まで出来ればFAXで青山さんまで。076-422-2852
(電話も同じ) 携帯 090-4683-9486

反核平和マラソンのランナー／給水・搬送のボランティア募集

ランナーは1Kmでも2Kmでも走れる人ならOK ボランティアは誰でも出来ます



2012年「反核・平和マラソン」へのメッセージ

本日、2012年「反核・平和マラソン」を開催されるにあたり、日本非核宣言自治体協議会を代表してメッセージをお送りいたします。

皆様におかれましては、"スポーツは平和とともに"をスローガンに連帯の輪を広げ、昨年は「反核・平和マラソン」が20都府県で実施され、2000人を超える方が参加したとお聞きしております。今年もまた、全国各地で開催が予定されており、関係者の皆さまの御尽力に心から敬意を表します。

私ども日本非核宣言自治体協議会は、地域住民の安全を守り、世界恒久平和の実現に寄与することが自治体の責務であるという視点から1984年に非核宣言を行った自治体が連携して設立し、現在、285の自治体が加盟しており、来年、設立30周年を迎えることとなります。

私たちが暮らす北東アジア地域では、北朝鮮の核問題などを抱えており、当協議会では、住民が安心して暮らせる地域社会の実現のため、「北東アジア非核兵器地帯」の創設の呼びかけや被爆の実相を伝えるために原爆展の開催の支援などをはじめとした核兵器廃絶を目指した取り組みを行ってきました。

当協議会は、これからも市民の皆様と連携を図りながら、「核兵器のない世界」の実現に向けて努力してまいります。

「反核・平和マラソン」に参加される皆様におかれましても、核兵器の恐ろしさ及び非人道性への理解を深め、一入でも多くの市民の皆様とともに世界恒久平和の実現に向けて、核兵器廃絶への取り組みを続けられますことを期待いたします。

最後になりましたが、「反核・平和マラソン」のご成功と、ご参加の皆様のご活躍、ご健勝を心から祈念申し上げます。

平成24年5月10日

日本非核宣言自治体協議会
会長(長崎市長) 田上 富久

メッセージ

「2012年度反核・平和マラソン」の開催に当たり、メッセージをお送りいたします。

1945年8月6日、一発の原子爆弾により広島は街は廃きよと化し、その年の暮れまでに約14万人もの尊い命が奪われました。住み慣れた街を破壊され、大切な家族や友人を亡くした被爆者を始め広島市民の心の痛みは、筆舌に尽くせるものではありません。

原爆の犠牲となられた方々の声や思いを胸に、毎日を懸命に生き抜き、この街をよみがえらせ、核兵器廃絶と世界恒久平和を希求し続けてきた被爆者の平均年齢は77歳を超えました。私は、今こそ、すべての被爆者からその体験や平和への思いをしっかりと学び、次世代に、そしてこの世界に生きる一人一人に伝えたいと考えています。また、人々が集まる世界の都市が2020年までの核兵器廃絶を目指すよう、長崎市と共に、世界の5,200を超える都市が加盟する平和市長会議の輪を広げることにも力を注ぎます。さらに、NPT再検討会議など各国の為政者たちが広島の地に集い、核兵器廃絶に向けた議論をするため国際会議の開催に向け努力したいと考えています。

世界を動かし、人類の未来を決定していく行動の原点となるのは、私たち一人一人市民の力です。そうした意気からも、皆様が、「2012年度反核・平和マラソン」を通して、平和への願いを訴えて下さるお気持ちを大変有り難く受け止めています。是非とも皆様には、今後ともヒロシマと思いを共有し、人類の未来のため、そして世界恒久平和の実現に向け共に力を尽くし行動して下さることを心から期待しています。

終わりに、「2012年度反核・平和マラソン」の御成功と、御参会の皆様の今後ますますの御健勝と御多幸を心よりお祈りいたします。

平成24年(2012年)5月10日

平和市長会議
会長広島市長 松井 一費